

AP: Acceleration Program for University Education Rebuildingの略称

APとは…「確かな人材養成ができる鹿屋体育大」への教育改革



松下雅雄 学長

現在、社会において求められる人材は高度化・多様化しております。大学は待ったなしで改革に取り組み、学生の能力を最大限に伸ばし、社会の期待に応えるため、これまで以上に教育内容を充実させ、学生が徹底して学ぶことのできる環境を整備する必要があります。鹿屋体育大学は、平成28年度、文部科学省が公募した大学教育再生加速プログラム(AP)「**高大接続改革推進事業—『テーマV 卒業時における質保証の取り組みの強化』**」に応募し、採択(応募116件、採用19件、平成28年11月7日交付決定)されました。

平成31年度までの取組期間で、本学の教育目標を踏まえて「確かな人材養成ができる」ように真摯に考え迅速に取り組んでいきます。学生諸君においても、大学での学修及び課外活動を充実させ、社会へと旅立てるように本事業への積極的かつ真摯な取組を期待します。

改めて、卒業時まで身に付ける能力を確認しよう…

以下は、本学学生が卒業時まで身に付けなければならない具体的な12の能力を示しています。APでは、これらの能力がどのような活動で、確実に身につけているかを確認できるよう、学修行動や学修成果等の可視化を行い、改善に繋がる取組を実施します。

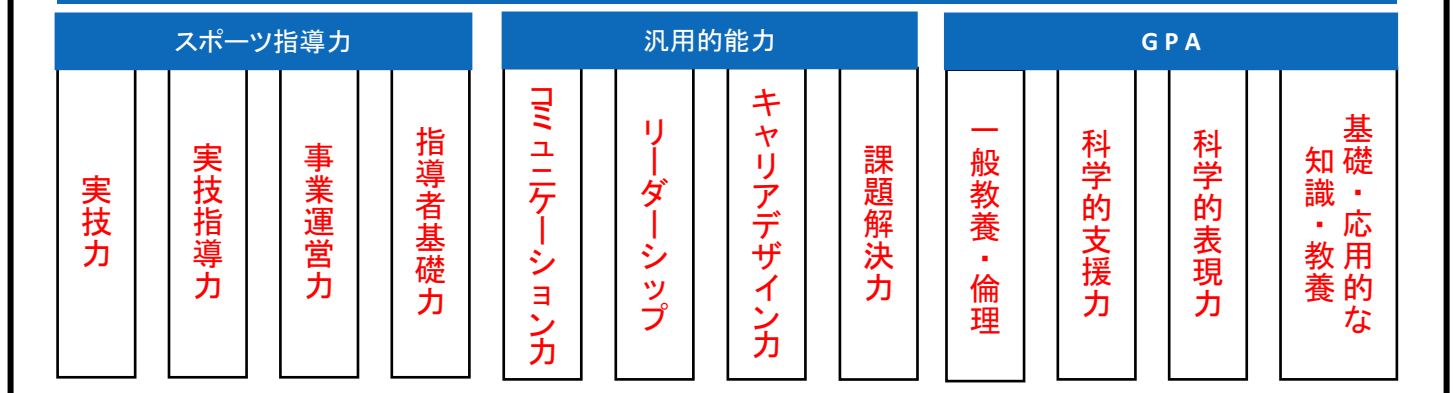
【大学の教育目標】

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける
実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを育てる

段階的かつ継続的なライフ・キャリアデザイン力と
社会人基礎力(汎用的能力)の養成

多様なスポーツリーダーとしての自覚と
実践的なスポーツ指導力の養成

学生が卒業までに身に付けなければならない具体的な12の能力※

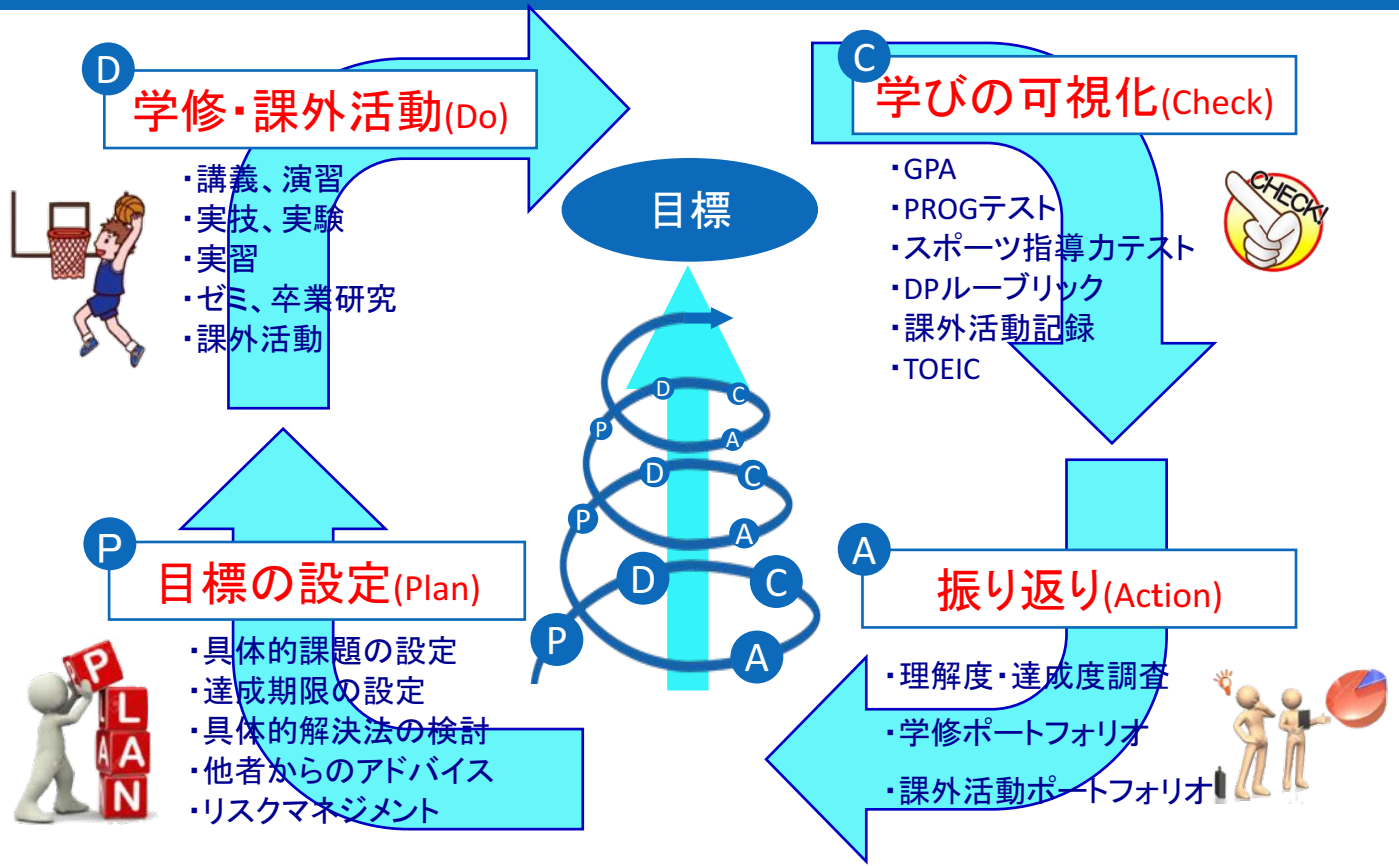


※: 12の能力は卒業認定・学位授与の方針(DP: Diploma Policy)で示されているものです

大学生活での具体的な学修行動や自主行動



12の能力を身につけるためには…継続的にPDCAを回すことが重要！



課外活動(部活動)での目標はもちろんのこと、大学生活でどんな能力を身につけ、どんなキャリアを形成していくのか…できるだけ早いうちから考え、目標を立てることで、充実した大学生活を送れるようになります。また、上図のPDCAサイクルを継続的に回すことで、目標達成に向けてスムーズに行動することができます。

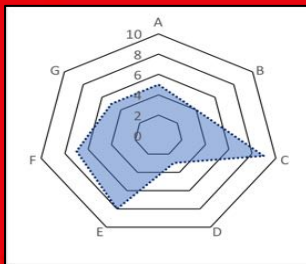
教育企画・評価室は、ポートフォリオ等を用いて学生の「目標の設定」「学びの可視化」「振り返り」を支援します。

学びや成長を可視化する3つの柱

【スポーツ指導力】

[実技指導力] [事業運営力]

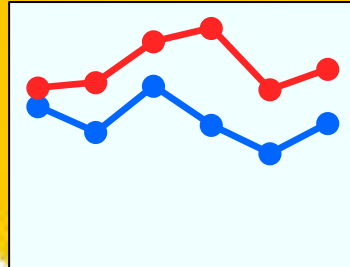
[指導者基礎力][実技力][コミュニケーション力][キャリアデザイン力]



【汎用的能力※】

[リーダーシップ][課題解決力]

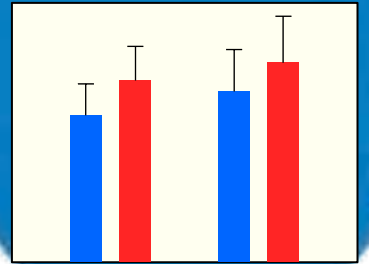
[科学的支援力][表現力]



【GPA】

[一般教養・倫理][知識]

[科学的支援力][表現力]



課外活動

英語力

実技力

職業選択

大学で身につける能力・成長の証



※汎用的能力: 社会人として求められる基礎力(ジェネリックスキル)のこと。

大学で身につけている能力や学びの軌跡は、大きく次の3つ項目から可視化します。①基礎的・応用的な知識や技能の修得度を示す授業科目群毎のGPA、②実践的なスポーツ指導力を示す指導者基礎力、実技指導力、事業運営力、③社会に出てから求められる汎用的能力(※)であるリテラシーとコンピテンシー。その他にも、大学で身につけるべき能力や学びの軌跡について可視化を図ります。

汎用的能力・リテラシー※の成長の軌跡（H26年度入学生：1年次→3年次）

※リテラシー：知識を活用して問題を解決するチカラ。

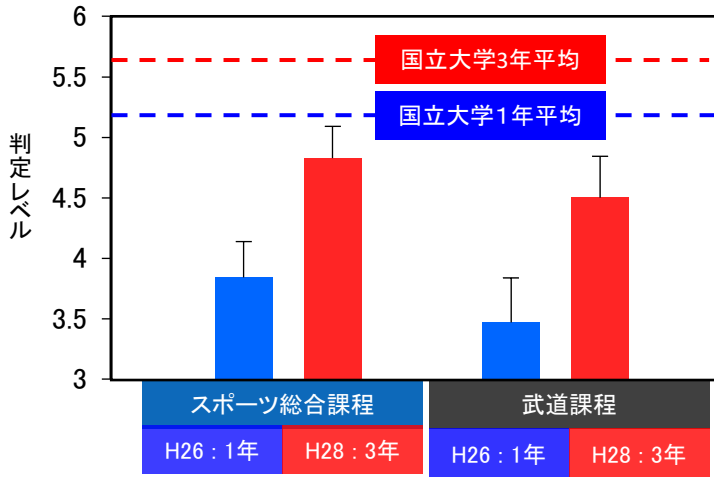


図1. 各課程におけるリテラシーの総合結果の変化

現4年生が1年次(H26年度)と3年次(H28年度)にPROGテストを受験した結果です。リテラシー項目では、スポーツ総合課程・武道課程ともに大幅にレベルが上昇しています(図1)。全ての項目で伸びており、特に「構想力※」(図2, 3)が伸びています。しかし、他の国立大学生と比べると本学の学生のリテラシーは低いのが現状です。特に「情報収集力」「情報分析力」「言語処理能力※」において大きな差が見られ、今後の改善が期待されます(図2, 3)。



※構想力：さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する力

※言語処理能力：語彙や同義語、言葉の係り受けなど日本語の運用に関する基礎的な能力

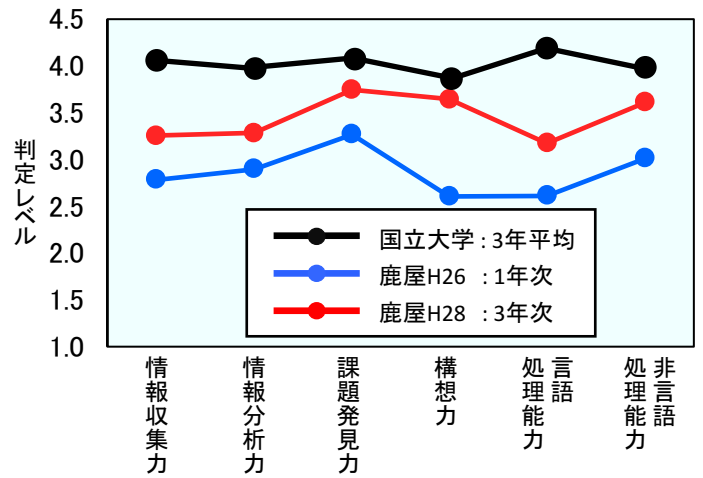


図2. スポーツ総合課程のリテラシー項目の変化

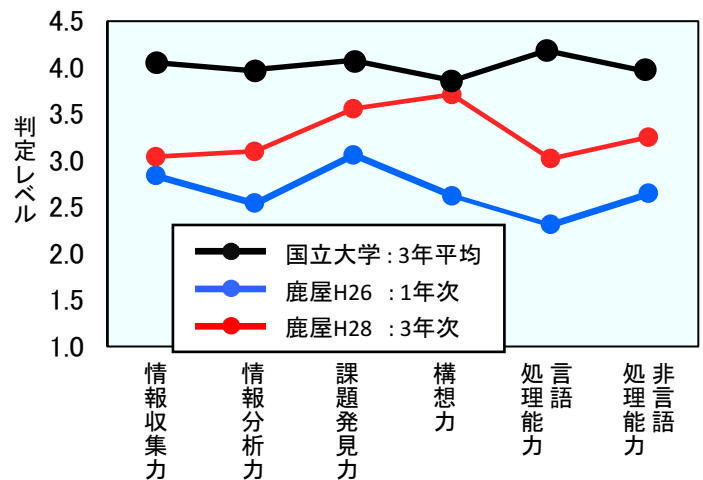


図3. 武道課程のリテラシー項目の変化

汎用的能力・コンピテンシー※の成長の軌跡（H26年度入学生：1年次→3年次）

※コンピテンシー：人と自分にベストな状態をもたらそうとするチカラ。

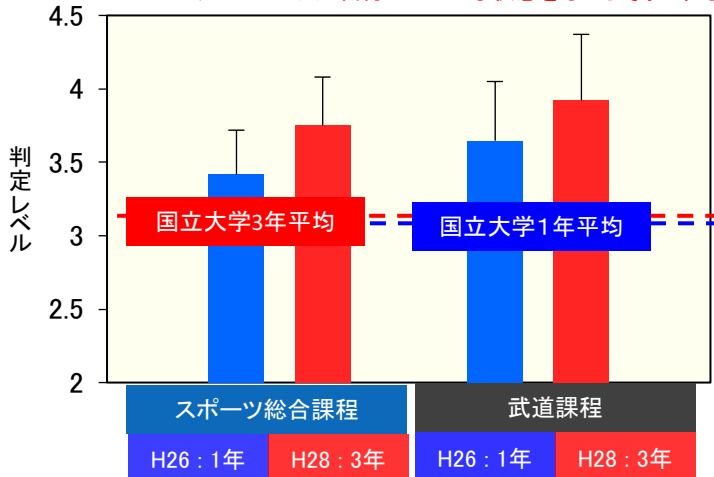


図4. 各課程におけるコンピテンシー総合結果の変化

コンピテンシー項目も、スポーツ総合課程・武道課程ともに1年次から3年次にかけてレベルが上昇しています(図4)。特に「対自己基礎力」と「対課題基礎力」が伸びています(図5, 6)。

他の国立大学生と比べてみると、本学の学生は1年次から全般的にコンピテンシーが高いことがわかります。特徴としては、「対人基礎力」「対自己基礎力」が非常に高いことがわかります。しかし、細かくみると「統率力※」「課題発見力」「計画立案力」が低いことがわかります(図5, 6)。

リテラシー同様、今後の改善が期待されます。



※統率力：場を読み、目標に向かって組織を動かす力

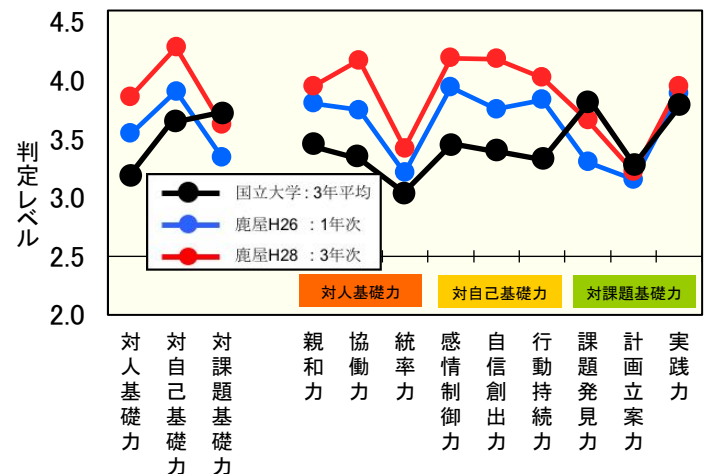


図5. スポーツ総合課程のコンピテンシー項目の変化

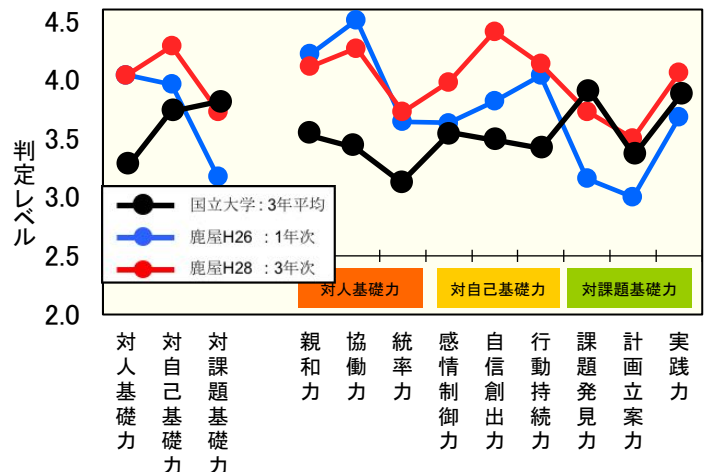


図6. 武道課程のコンピテンシー項目の変化



GPAとは…総合GPAと科目群GPAで、授業での学びを可視化

GPA(=Grade Point Average)とは、アメリカ等の大学で導入されている成績評価システムで、それぞれの授業科目にGP(=Grade Point)を付与し、授業科目毎の単位あたり平均ポイント(pt)を出したものです。

本学では、授業科目毎に基本A・B・C・Dの4段階の評価を行っています。GPAは、授業科目を越えて、全科目や科目群毎での学びや成長を評価するために導入しています。

平成29年度からは全科目の総合GPAに加えて授業科目群毎に算出し、科目群GPAもフィードバックします。

Q1. 各授業科目のGP(グレード・ポイント)とは...

評定	評点	GP	評価基準
A	90-100点	4.0pt	到達目標を達成し、
	80-89点	3.0pt	優秀な成績を修めている。
B	70-79点	2.0pt	到達目標を達成している。
C	60-69点	1.0pt	到達目標を最低限達成している。
D	0-59点	0.0pt	到達目標を達成していない。

(注)履修放棄は「K」で表示し、「0pt」で計算される。

総合GPAが高いと...

総合GPAが、**3.5以上(※)**あると、以下の点で有利になります。

- ①卒業時点で、学生表彰の候補
- ②早期卒業、飛び級の要件
- ③授業料免除、奨学金の選考資料で有利。



※平成27年度以前の入学生は、修得した授業科目のうち、「A」の数が90%以上でも対象になります。

逆に総合GPAが、**1.5未満**になると、大学から修学指導が実施されます。

Q2. 科目群GPAとは...

例)基礎科目Aの場合

運動生理学 (2単位) 90点(4.0pt)	解剖生理学 (2単位) 85点(3.0pt)	バイオメカニクス (2単位) 73点(2.0pt)
------------------------------	------------------------------	---------------------------------

(4.0pt × 2単位 + 3.0pt × 2単位 + 2.0pt × 2単位)

3科目 × 2単位

= 3.0pt **科目群GPA**

Q3. 総合GPAとは...

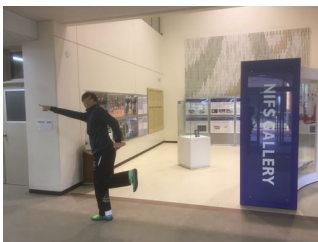
履修した科目の[GP × 単位数]の合計

総単位数

= **総合GPA**

教育企画・評価室とは...

教育企画・評価室までの道のり



① まずは大学院棟を左に♪



② 5mほど進んで右に♪



③ 突き当りを右に♪



④ ゴール!!

NIFS-AP Newsの第1号を最後まで読んでいただきありがとうございました。

平成28年10月から教育企画・評価室が大学院棟1階(旧マルチメディア室)に開設されております。しかし、分かりにくい場所にありますので、御用の際には左の写真を手がかりに来室していただければと思います。

教育企画・評価室は、主に学生の学びや成長の可視化をGPAやPROGテストなど、振り返りシート(ポートフォリオ)から行い、鹿屋体育大学における教育の質保証や改革を促進します。このNewsでは、その取組状況をみなさんにわかりやすくお伝えしていきます。

なお、第2号のNEWSは、2017年秋頃を予定しております。今後ともよろしくお願ひします。 [濱中 良・金高宏文]

<発行>

鹿屋体育大学 教育企画・評価室

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
大学院棟1階

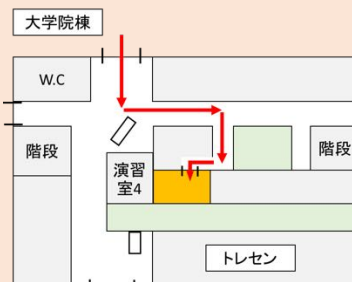
TEL&FAX: 0994-46-5082

E-MAIL: kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

<http://ap.nifs-k.ac.jp>

<企画・編集>

濱中 良・近藤亮介・岡田あゆみ・金高宏文



教育企画・評価室のHPも開設されているのでご覧ください



<http://ap.nifs-k.ac.jp>